

平成22年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成21年11月6日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 フライングガーデン
 コード番号 3317 URL <http://www.fgarden.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 野沢 八千万
 (氏名) 片柳 紀之

TEL 0285-30-4129

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	3,843	△7.2	100	—	95	—	48	—
21年3月期第2四半期	4,139	—	△38	—	△47	—	△253	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	33.68	—
21年3月期第2四半期	△175.52	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円		百万円		%	円 銭
22年3月期第2四半期	4,374		1,493		34.1	1,032.72
21年3月期	4,502		1,488		33.1	1,029.22

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 1,493百万円 21年3月期 1,488百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,800	△2.9	150	—	120	—	70	—	48.40

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

(注)詳細は4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 1,449,168株 21年3月期 1,449,168株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 2,968株 21年3月期 2,872株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 22年3月期第2四半期 1,446,228株 21年3月期第2四半期 1,446,377株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成21年5月11日発表の業績予想を修正しておりません。上記に記載しました予想数値は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は、業況の変化により上記予想数値と異なる場合があります。なお上記予想に関する事項は添付資料の4ページをご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期（6ヶ月）におけるわが国経済は、景気の底打ちの兆しが見られるものの、企業業績の大幅な悪化、設備投資の抑制、雇用情勢の更なる悪化など、依然として厳しい状況が続いております。

外食業界におきましても、一段と個人消費が冷え込む中、外食企業間の顧客獲得競争の激化など厳しい経営環境が続いております。

このような環境におきまして当社は、ドリンクバーの導入やお子様メニューの大幅値下げによる新たな顧客層の開拓、看板商品である爆弾ハンバーグの調理・提供に対しての資格認定制度の導入等、商品力、サービス力の向上に取り組みました。あわせて、携帯ホームページの活用によるクーポン配布等の新たな販促活動に取り組みました。

出店につきましては、茨城県水戸市に「内原イオン前店」を出店しました。

既存店につきましては、茨城県龍ヶ崎市の「竜ヶ崎店」及び茨城県つくば市の「つくば学園店」の2店舗を閉店いたしました。

その結果、当第2四半期累計期間末の店舗数は67店舗となりました。

販促活動の強化による売上値引や商品単価の見直し等により客単価を下げた結果、既存店来客数についてはほぼ前年を維持することが出来ましたが、既存店売上高につきましては前年比92.8%で推移しました。結果として、当第2四半期累計期間の売上高は3,843,492千円（前年同期比92.8%）となりました。また、ドリンクバーの導入による効率化等、販売費及び一般管理費の削減に努めた結果、当第2四半期累計期間の営業利益は100,801千円（前年同期は営業損失38,575千円）、経常利益は95,169千円（前年同期は経常損失47,722千円）、四半期純利益は48,715千円（前年同期は四半期純損失253,872千円）と減収増益となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

・資産、負債及び純資産の状況

（資産の状況）

資産は、前事業年度末と比べ128,939千円減少し、4,374,012千円となりました。主な要因は現金及び預金の減少77,745千円及び差入保証金の減少31,177千円によるものであります。

（負債の状況）

負債は、前事業年度末に比べ133,907千円減少し、2,880,487千円となりました。主な要因は有利子負債の増加45,554千円及び未払金の減少168,080千円によるものであります。

（純資産の状況）

純資産は、配当金の支払い及び四半期純利益の計上等により、前事業年度末に比べ4,968千円増加し、1,493,525千円となりました。

・キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前事業年度末と比べ86,745千円減少し、270,333千円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、138,628千円（前年同期比202.7%）となりました。これは主に税引前四半期純利益95,590千円、減価償却費119,488千円を計上したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は224,191千円（前年同期比77.9%）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出211,754千円を計上したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は1,183千円（前期は63,481千円の獲得）となりました。これは主に長期借入金による収入500,000千円、長期借入金の返済による支出254,446千円及び短期借入金の純減額200,000千円を計上したことによるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

一段と個人消費意欲が冷え込んでおり、厳しい状況はまだ続くと考えておりますが、当社といたしましては、売上確保のための、フェアメニュー投入や携帯クーポン等による販売促進の実施及び、経費削減に取り組むことで、利益予算を達成すべく取り組んでおりますが、先行きにつきましては不透明であります。

そのため、平成21年5月11日に発表いたしました業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①退職給付引当金の計上基準

当事業年度末における退職給付債務(従業員の自己都合による期末要支給額)の見積額に基づく退職給付費用の額を期間按分して算定しております。

②繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

③固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産の減価償却費については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期累計期間において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めて表示しておりました「未払費用の増減額」及び「未払消費税等の増減額」は重要性が増加したため、当第2四半期累計期間では区分掲記することといたしました。なお、前第2四半期累計期間の「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含まれる「未払費用の増減額」は6,826千円、「未払消費税等の増減額」は△12,924千円であります。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	637,833	715,579
売掛金	18,742	17,086
原材料	22,656	25,524
その他	146,580	165,687
流動資産合計	825,812	923,878
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,285,621	3,190,375
構築物	801,724	788,727
その他	773,247	780,974
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,766,363	△2,654,638
有形固定資産合計	2,094,230	2,105,438
無形固定資産		
199,661	199,661	194,942
投資その他の資産		
差入保証金	700,506	731,683
その他	553,802	547,010
投資その他の資産合計	1,254,308	1,278,693
固定資産合計	3,548,199	3,579,074
資産合計	4,374,012	4,502,952
負債の部		
流動負債		
買掛金	188,798	225,228
短期借入金	440,000	640,000
1年内返済予定の長期借入金	454,382	439,672
未払金	271,592	439,672
未払法人税等	30,718	32,000
賞与引当金	47,150	45,000
その他	135,322	74,952
流動負債合計	1,567,964	1,896,525
固定負債		
長期借入金	977,105	746,261
退職給付引当金	76,961	71,163
役員退職慰労引当金	129,419	128,649
その他	129,037	171,796
固定負債合計	1,312,523	1,117,869
負債合計	2,880,487	3,014,395
純資産の部		
株主資本		
資本金	579,900	579,900
資本剰余金	496,182	496,182
利益剰余金	423,958	418,631
自己株式	△5,251	△5,214
株主資本合計	1,494,788	1,489,498
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,263	△941
評価・換算差額等合計	△1,263	△941
純資産合計	1,493,525	1,488,557
負債純資産合計	4,374,012	4,502,952

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	4,139,846	3,843,492
売上原価	1,293,542	1,195,295
売上総利益	2,846,304	2,648,197
販売費及び一般管理費	2,884,880	2,547,395
営業利益又は営業損失(△)	△38,575	100,801
営業外収益		
受取利息	625	467
受取配当金	68	52
受取賃貸料	13,416	22,229
その他	2,107	6,237
営業外収益合計	16,217	28,987
営業外費用		
支払利息	14,392	16,488
賃貸収入原価	10,018	16,407
その他	953	1,724
営業外費用合計	25,365	34,619
経常利益又は経常損失(△)	△47,722	95,169
特別利益		
固定資産売却益	—	4,368
受取補償金	—	3,000
特別利益合計	—	7,368
特別損失		
固定資産除却損	8,219	—
減損損失	315,037	—
店舗閉鎖損失	—	6,947
その他	9,523	—
特別損失合計	332,780	6,947
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△380,503	95,590
法人税、住民税及び事業税	20,914	17,196
法人税等調整額	△147,545	29,678
法人税等合計	△126,631	46,875
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△253,872	48,715

(第2四半期会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	2,173,389	1,952,811
売上原価	682,831	602,659
売上総利益	1,490,558	1,350,152
販売費及び一般管理費	1,487,835	1,270,546
営業利益	2,722	79,605
営業外収益		
受取利息	110	15
受取配当金	0	—
受取賃貸料	7,023	10,897
その他	848	2,965
営業外収益合計	7,982	13,877
営業外費用		
支払利息	8,072	8,501
賃貸収入原価	4,578	6,581
その他	136	944
営業外費用合計	12,787	16,027
経常利益又は経常損失(△)	△2,081	77,455
特別利益		
固定資産売却益	—	4,368
特別利益合計	—	4,368
特別損失		
固定資産除却損	8,219	—
減損損失	315,037	—
店舗閉鎖損失	—	1,647
その他	9,523	—
特別損失合計	332,780	1,647
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△334,862	80,176
法人税、住民税及び事業税	9,980	10,109
法人税等調整額	△129,196	29,853
法人税等合計	△119,216	39,962
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△215,646	40,213

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△380,503	95,590
減価償却費	147,724	119,488
減損損失	315,037	—
店舗閉鎖損失	—	6,947
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	—	△22,354
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△10,117	2,150
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2,327	770
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	5,896	5,798
受取利息及び受取配当金	△694	△520
支払利息	14,392	16,488
固定資産除却損	8,219	—
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△4,368
売上債権の増減額 (△は増加)	5,705	△1,656
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,800	2,867
仕入債務の増減額 (△は減少)	△16,833	△36,430
未払金の増減額 (△は減少)	2,989	△44,472
未払費用の増減額 (△は減少)	—	△6,764
未払消費税等の増減額 (△は減少)	—	31,468
その他	43,013	10,682
小計	133,358	175,685
利息及び配当金の受取額	694	520
利息の支払額	△14,942	△16,584
法人税等の支払額	△50,717	△20,992
営業活動によるキャッシュ・フロー	68,392	138,628
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△163,003	△147,000
定期預金の払戻による収入	220,003	138,000
有形固定資産の取得による支出	△321,105	△211,754
有形固定資産の売却による収入	—	4,368
差入保証金の差入による支出	△28,000	△11,520
差入保証金の回収による収入	29,910	23,354
その他	△25,485	△19,639
投資活動によるキャッシュ・フロー	△287,680	△224,191
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△200,000	△200,000
長期借入れによる収入	600,000	500,000
長期借入金の返済による支出	△288,965	△254,446
リース債務の返済による支出	△2,680	△3,592
自己株式の取得による支出	△48	△36
配当金の支払額	△44,824	△43,109
財務活動によるキャッシュ・フロー	63,481	△1,183
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△155,806	△86,745
現金及び現金同等物の期首残高	368,507	357,079
現金及び現金同等物の四半期末残高	212,701	270,333

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。